

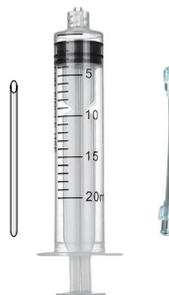
「使い捨て注入キット」

Single-Use Syringe Injectors for R1234yf & R134a

ご参考の注入方法

- 冷媒配管の低压サービスポートのキャップを取り外し、低压カプラーを冷媒配管の低压サービスポートに押し当て、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。※低压側の配管を破損しないよう取付時はサービスバルブの裏側をウエス等で持ち上げ、支えてください。
- 注入車両のエンジンを始動し、エアコンのスイッチを入れてください。※オートエアコンを解除しマニュアル操作で最低温度、最強風量にしてください。
- 使い捨ての注射器を低压カプラーに接続し、液体などの注入作業を行なってください。※奥側にある低压ポートの場合、延長ホースをご使用ください。その際に、延長ホース内部のエアパージを行なうことを忘れないでください。
- 注入作業が終了したら、ウエスなどで低压カプラーを引きながら冷媒配管の低压サービスポートから取り外してください。
- 完了後、エンジンを停止せず、そのままカーエアコンを15分程度稼働させてください。(ご参考: 漏れ止め剤(X Seal)の注入した場合、腐食、締め付けの緩いカシメ、擦り傷などによって発生した僅か微小な冷媒ガス漏れ止めを、かさぶた状のシール油膜で止めます。)

R1234yf 低压専用
使い捨てオイル注入キット
RH-31YF-PS20



R134a 低压専用
使い捨てオイル注入キット
RH-31A-PS20



注意事項

プラスチック製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。

- 炎や火気の近くで使用しないこと。
- 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
- 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所やストーブ、ファンヒーターの近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。
- 火の中に入れていないこと。
- 使い切って捨てること。
- ガソリン等、揮発性液体及び溶剤には使用不可。

高压ガス: HFC-134a

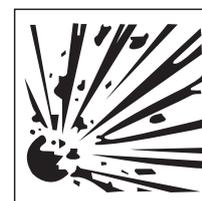
地球温暖化物質にあたるため大気中に放出せず下記法律に準じて処理すること。

- フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律
- 地球温暖化対策の推進に関する法律
- 特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)

保管上の注意

- カーエアコン専用使い捨て注入キットのため、用途以外には使用しない。
- 作業時は、保護手袋及び保護めがねを着用する。
- 作業時は、エンジン廻りの高温部、並びに回転部に触れないように十分注意する。
- 注入時に、水分、空気等、異物が混入しないように注意すること。
- 高压側バルブに接続しない。プラスチック製注射器に1kgf/cm²以上の圧力を加えない。
- 保管の際は、車内や40℃以上になる所、直射日光の当たる所、サビの発生しやすい所(水周り、高湿度の所等)には置かない。
- 人体に使用しない。
- 温風、熱湯による加熱を行わないこと。破裂する危険がある。
- 低压カプラーは設計上、再利用可能なものとなりますが、長期繰り返し使用設計ではありません。

火気と高温に注意



免責分

本資料は、使い捨て注入キットの安全な取り扱いを確保するための参考情報として取り扱う事業者には提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いに応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、ご使用いただきますようお願い申し上げます。本資料そのものは安全の保証資料ではありません。

○ 推奨

ステップ① **ステップ②**

エアパージ

ご注意:
 低压ポートに接続する前に、注射器の液体でホース内をエアパージしてください。

× 非推奨

ステップ② **ステップ①**

非推奨の理由:
 低压ポートに接続した際に、カーエアコンのほんの僅かな冷媒ガスがホース側に吹き出します。吹き出した同時に、カプラーの逆流防止弁が作動します。但し、カプラーの接続がうまく行かず、3,4回繰り返し作業を行なうことにより、ガス圧力で注射器のプランジャー(押し子)が飛ばされる恐れがあります。

エアパージ方法

エアパージ

車両のガス圧力により、逆流防止弁が作動すると同時に、カプラーをエアパージします。

逆流防止弁作動中イメージ図

逆流防止弁 未作動状態 **逆流防止弁 作動中**

ロック解除
 ※Oリングの位置を超えると、ロック解除となります。

ロック状態
 ※Oリングの位置を下回ると、ロック状態となります。

低压ポート

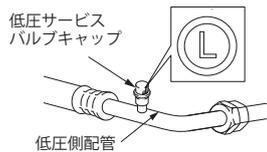
× **○**

ロックの状態のまま、
 低压ポートに装着不可

ロック解除の状態のまま、
 低压ポートに装着可

注入方法

※車両の状態により、ケミカルが入りにくい場合があります。
 (寒くてガス圧が低い場合、車両のガス量が少ない場合)



エアパージ **逆流防止弁作動中**

逆流防止弁が作動すると同時に、エアパージします。

※「カチッ」と音がするまで確実に差し込んだ状態をご確認

奥側にある低压ポートの場合、延長ホースをご使用ください。

手前にある低压ポートの場合、そのままをご使用ください。

- エンジン始動
- エアコンのスイッチON

※液体でホースのエアパージを行なう際に、常に斜め上を向くようにしてください。

ステップ① ➡ ステップ② ➡ ステップ③ ➡ ステップ④

※ご注意

- 使い切った注射器を再利用しないでください。
- 低压カプラーは設計上、再利用可能なものとなりますが、繰り返し使用設計ではありません。
- その後のご使用に関しては、当社はあらゆる責任から免責されるものといたします。

- 中身が空になったか確認
- (プラスチック類)など、分別の仕方を確認して、ルールを守りましょう

アイドリング

注入完了後、エンジンを停止せず、そのままカーエアコンを15分程度稼働させてください。

カプラーのボデーを上げ、取り外す

ウエスなど

※30秒程度保持

ステップ⑦ ← ステップ⑥ ← ステップ⑤